



松本節太郎さん死去

下総玩具の創始者 先月27日、101歳で

素朴な土人形として知られる「下総玩具」を創始した柏市根戸、松本節太郎さんが、先月27日に市内の病院で老衰のため亡くなっていたことが分かった。101歳だった。既に身内だけで密葬が行われた。

松本さんは東京・下谷の染色屋に生まれ、戦後、で柏に移住した。戦後、生活の糧に自宅裏山の白粘土を使って、干支や七福神、西遊記などの土人形を独自に考案した。全国各地で個展を開いて話題になり、作品は「下総玩具」と命付けられた。

88年に東葛飾地区の文化功労者に贈るため創設された「ヌーベル文化賞」の第1回受賞者。昨年9

月の敬老の日には満100歳を記念し、「松本節太郎資料室」が柏市旭町に開設された。松本さんは後継者がいないから二



自作の作品を点検する松本さん＝下総玩具資料室で（昨年9月15日写真）

と全作品約600点を寄贈。以来、常設展示されている。

ヌーベル文化賞の創設者の一人で、ギャラリーヌーベル社長として松本さんの創作活動を支援してきた鈴木昇社長(54)は

「100歳を超えても創作意欲は旺盛で、亡くなるまで来年の干支の制作などをしていた。資料室で松本さんの遺作を多くの人に見てほしい」と話している。

【大矢武信】